# 第2次吹田市地域福祉計画



福祉とはなんでしょう
福祉とは「しあわせ」を意味します
地域福祉とは、地域に暮らす人のだれもが主役となり
お互い支えあいながら
みんなで「しあわせ」を築いていくことです
一人ひとりのちょっとした思いやりが
みんなをしあわせにします
みんなはひとりのために ひとりはみんなのために
このまちに住んでよかったと思えるような地域をめざします

平成23年(2011年)3月 吹田市

## ●目標●

# いのちとくらしを守り、一人ひとりが輝くまちづくり



# 具体的な目標

- 健康の保持・増進
- 社会的孤立の解消
- 安心・安全な地域生活

# ●進め方●

地域福祉は、住民のみなさんが取り組むこと(民の役割)と行政が取り組む こと(公の役割)の2つが協働することによって、進んでいきます。

## 公 • 民 協 働



#### 地域福祉活動

- ●地区福祉委員会活動
- 民生委員・児童委員活動
- ●自治会活動
- ●ボランティア活動
- ●NPO活動
- ●高齢クラブ活動
- ●社会福祉協議会 施設連絡会活動

条件整備

連 携

# **学**公の役割

総合的・体系的な 生活保障

#### 労働問題対策

- ●雇用·就労
- ●労働条件

#### 公共一般施策

- ●保健・医療
- ●教育・スポーツ
- ●住宅
- ●牛活環境



など

## ●重点課題●



#### 地域福祉活動及び保健・福祉サービス等に関する 情報発信の充実・支援

各地域で行われている様々な地域福祉活動や市民のくらしを支える保健・福祉サービスについての情報を、市民のみなさんに伝えていくことが必要です。 そのために、インターネットなどの新たな手段を活用して、地域単位を基本とした情報発信の検討をしていきます。



#### 地域福祉活動の担い手づくりのための 学習会・懇談会開催の支援

地域のすべての人がお互いを認めあい、支えあう地域福祉を推進していくには、一人ひとりが地域づくりの大切な力になることが求められます。まず、自分の住んでいる地域について、どんな課題があるかを知り、みんなで話しあうことが大切です。

地域福祉活動の担い手を増やすために学習会や懇談会の開催について支援していきます。



#### 「まちの縁側」づくり(交流と問題・課題発見の場)の 支援

「こんにちは」のあいさつが交わされている地域は、住みよい地域です。 地域のつながりが弱まっている今、顔見知りをつくることが、地域福祉推進 の第一歩となります。

日常的に交流できる場、くらしの問題や課題を見つける場としての「まちの縁側」を身近な場所に設置できるよう支援し、「すいた版・地域福祉」を確立していきます。



## 要援護者の災害時における地域での支援体制の充実

だれもが安心して安全に暮らしたいと願っています。大規模な災害が発生した場合、公的な援助には限界があります。地域での助けあいにより、少しでも被害を減らすことが必要です。

日ごろから要援護者の情報を適切に把握し、地域の関係機関や支援者など との間で、情報を共有することが大切です。災害時における地域での支援体 制を充実することで、要援護者が地域で安心して安全に暮らすことができる まちづくりを進めていきます。



## 制度の谷間にある問題点について解決策を検討する 「(仮称)地域福祉問題調整会議」の立ち上げ

病気やけがによる一時的な要支援状態等にある人々など、既存の制度では、 対応が難しいケースがあります。そのようなケースを、公民の関係スタッフ で「(仮称)地域福祉問題調整会議」を立ち上げ、解決策を検討していきます。



いろんな サービスや催し が、パソコンで すぐにわかるん だね。

まちがきれいだと 気持ちがいいね。 一人ひとりの力が まちをきれいにして いくんだよ。



みんなで集まって話して いると楽しいね。それに、いろんな ことを教えてもらえるし。こんな 「まちの縁側」があちこちに あったらいいね。



助けあうしくみが しっかりしている と、安心。 みんなで支えあう ことが大切だね。





私たちのくらしの場である地域には、さまざまな生活の課題があります。 高齢者の生活不安や介護の問題、障がいのある人の自立や社会参加の問題、 子育ての不安など、ひとりで解決するのは難しい問題もあります。地域 福祉とは、そんな課題に対して、地域のみんなで協力して解決を図り、 支援する人も、支援を必要とする人も、このまちに住んでよかったと実 感できるような社会を実現するための取り組みです。



# なぜ、いま、地域福祉なの?

困った人がいたら手をさしのべ、みんなで助けあうといった姿が、かつては、どこの地域でも見られました。

しかし、現在では、少子高齢化や深刻な経済状況の悪化などを背景に、 子育て不安や介護の問題など、くらしの不安やストレスが増え、人と人 とのつながりが薄くなり、地域でお互いに助けあう力が弱まっています。 一人ひとりが、お互いを思いやり、ともに支えあう社会、地域福祉を

一人ひとりが、お互いを思いやり、ともに支えあう社会、地域福祉を みんなで進める取り組みが求められます。



# 地域福祉計画って?

市民一人ひとりの地域でのくらしを支える仕組みづくりについてまとめたものです。



# 🥟 大切なこと

- ●地域に暮らすみんなの問題として、主体的に取り組む
- ●だれもが自立してともに暮らしていける社会をめざす人権尊重、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン
- ●「公」と「民」の役割を明確にして協働で取り組む
- ●くらしの場である地域に着目して、総合的・体系的に対応していく



#### 計画の期間

平成23年度(2011年度)から平成27年度(2015年度)までの5か年です。 進行管理と必要に応じて見直しを行っていきます。





## できることから一歩ずつ

元気いっぱいに、楽しんで地域福祉活動をされている中内 弘さん(民生・児童委員、地区福祉委員)。スタッフとして運営している佐竹台サロンで、その思いについて語ってもらいました。

#### おかんに「この子を育ててよかった」と思わせたい

大阪で生まれて、4つのときに戦争が終わった。おかんの実家の山陰に移り住んだわ。電気もトイレもないところで、必死に生きたこともあった。おかんはすごく苦労したわ。そんなこともあって、小さいころから、おかんに「この子を育ててよかった」と思わせたいと、ずっと心に思とった。

学生時代は、とにかくお金がなかった。物がない時代やったからこそ、人にされた親切はすごく心に響く。自分が今まで病気もなく働いてこられたんは、目に見えない人の善意のおかげや。いろいろな人の親切や思いやりがあったわ。

#### これやったら自分でもできるわ

仕事を辞めてからは、時間もたくさんあったし、「何かあったら言うてくださいね」と自治会長さんに話しとった。そしたら会長さんから、週に一度の佐竹台サロンの開け閉めを任されたんや。それが地域との関わりの始まりやったな。

あるとき、マンションの駐輪場の電球が何本か切れてん。"電球を替えるくらいなら自分でもできるわ"と思ってな。交換が必要な電球をすべて交換したんや。それから団地の中央の広いスペースに、自治会と相談して花壇をつくったんや。市道沿いにもプランターをたくさん置いてるわ。花を育てるのは楽しいし、キレイなもんやで。

#### この地域が好きやから

#### みんなにも もっと好きになってもらいたいねん

最近、孤立防止を目的として、"一歩会"っていう自主サークルを立ち上げたんやわ。内容は、千里を知り、楽しみ、好きになるためのウォーキングや。自分が関わることで、相手のくらしが少しでもよくなって、その輪が広がっていったら、こんなにうれしいことないわ。活動を通じてみんなに喜ばれると、自分のおかんが喜んでくれてるような気がすんねん。少しずつでもいいから、自分の住んでるところをよくしようっていう思いが、地域の輪をつくるんや。そう思うで。

一感謝の気持ちが人と人とをつなぐ中内さんの取り組みはこれからも続くー

## 第2次吹田市地域福祉計画

- 発行 吹田市
- 編集 福祉保健部 地域福祉室 福祉総務課 〒564-8550 吹田市泉町1-3-40 TEL 06-6384-1815(直通) FAX 06-6368-7348 ホームページ http://www.city.suita.osaka.jp